

平成21年度事務事業評価表	担当	市民福祉部 児童課	内線等	1263
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	認可外保育施設入園児補助事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	3.健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	児童・母子(父子)福祉	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	子育て支援と人づくりのまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

対象(受益者)	認可外保育施設を利用する児童の保護者に
手 段	保育料の補助を行うことにより、
成果、目標	保護者の就業及び子育ての両立の支援並びに経済的負担を軽減する

成果指標

成果指標名	認可外保育施設補助金利用率	対第三子保育料無料化事業費補助金比率	
成果指標の説明	認可外保育施設利用者補助金利用者数 / 認可外保育施設利用者数 (4月1日現在) × 100	認可外保育施設利用者補助金額 / (第三子保育料無料化事業費補助金額 × 2) × 100	
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)
成果指標	5.95%	14.43%	-
成果指標	7.12%	21.11%	14.58%

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
補助金額(円)	698,521円	3,301,700円	3,000,000円
利用者数(人)	5人	14人	-
利用施設数(施設)	3施設	3施設	-

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	0.12人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.05人	非常勤		再任用	
H21 人工計	0.12人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.05人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	699	3,302	3,000
	人件費	890	871	
	合計	1,589	4,173	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	1,589	4,173	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	第三子保育料無料化の導入時、蒲郡市では待機児童が生じていたことから、認可保育所を利用する保護者との公平性を図るために導入したものである。したがって、待機児童数が常態として0となる時期までは、市が実施すべき事業と考える。
-------------	----	---

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	平成19年10月に第三子保育料の無料化を実施するにあたり、市の単独施策として実施した。導入2年目の平成20年度に利用者数が減少したため、利用施設から入所者に制度の説明をお願いすることにより、制度の周知を図った。
現在の課題、問題点	利用施設からの説明及び広報がまごおりによる周知では、限界があるため、利用者側にとって利用しやすい制度にすること及び認可外保育施設との連絡を密にすることをこれまで以上に心がける必要がある。
今後の改善計画	制度導入の所期の目的を考えると、認可保育所において低年齢児の受け入れを拡大した結果、常態として待機児童数が0となった場合には、制度の存続についても検討しなければならないと思われる。